

第32回：森本 広子 さん（リンクハート株式会社 ゆい訪問看護ステーション 代表取締役）**どんな会社ですか？**

24時間365日、看護が必要な方に、必要な看護を適切に提供する、機動力を大切にしている訪問看護ステーションです。

地域のケアマネージャーやヘルパー、医師など、ステーションの外部の方々とチームで連携しながら、利用者の意思決定を尊重した在宅ケアを、利用者とそのご家族に提供しています。

また、認定看護師として講演や雑誌記事の執筆など、訪問看護の良さを社会に発信する活動もしています。

起業してみてどうでしたか？

自分の目指す訪問看護をするために独立しましたが、理念に賛同してくださる医療・福祉関係の方々からの紹介や、利用者の口コミなどで広がっており、本当にありがたいです。スタッフと一緒に毎日頑張っています。

起業時、重要だった課題は？

起業場所、人材の確保、資金調達、起業に伴う各種手続き、起業家自身の知識・情報収集です。

課題はその後、どうなりましたか？

起業場所は、交通の便のよい中和幹線沿いで物件を探しました。以前から独立を勧めてくださっていた知り合いの医師に現在の場所を紹介していただきました。

人材の確保は、訪問看護の経験者を集めることに苦労しました。独立したら一緒に仕事をしようと言ってくれたかつての同僚が来てくれて、本当に感謝しています。

資金調達は、経営の自由度を確保したかったので、自分一人が出資しました。自分もずっと働いてきたので、起業してお金を使うことについて家族も理解してくれました。訪問看護ステーションを経営している友人に起業に必要な金額や調達方法を聞き、必要な収入や経費を全て算出しました。

起業に伴う各種手続きは、県庁や法務局など手続きの窓口に行っているいろいろ聞きました。利用者や医師が開設を待っていてくれたので、早く開設できるよう、会社設立の手続きは行政書士に依頼し、私は看護師にしかできない事業所開設の申請や人材確保、内装・設備の調達などに時間を割きました。

知識・情報収集は、事業に関するものは専門機関に聞けば教えてもらえましたが、経営に関する知識・情報の収集に苦労しました。社会保険や労働基準法関連、助成金のことなど、本を買っても言葉が難解でしたので、行政書士や社会保険労務士、税理士に相談しました。

起業時、役に立った相談・支援機関は？

起業した知人・友人です。経験者の話は大変参考になりました。
話を聞いて、自分で考え、調べて決断することはとても大事だと思いました。

起業前の経験は活きていますか？

看護学校を卒業後、病院で看護師をしていました。訪問看護制度が始まることになり、講習を受講させてもらったことでこれからは在宅ケアの時代だと思い、訪問看護師になれるよう病院で看護のレベルアップに努めました。

その後、民間病院や奈良県看護協会で訪問看護ステーションの仕事に携わり、天職だと思いました。もっと深く学ぶために認定看護師になり、自分が目指す看護を出来るよう独立しました。

今までの経験を通じて学んだことは全て現在の事業に活かされています。

今後の抱負は？

これからも、利用者と家族に最善のケアを提供できるよう地道に努力を続けていきたいと
思います。スタッフが「いいところで働いているね」と言われるような訪問看護ステーションを目指したいと思っています。



企業情報

商号	リンクハート株式会社 ゆい訪問看護ステーション
業種	医療・福祉
起業年	2014年
所在地	〒635-0002 奈良県大和高田市土庫 3-332-7 MKビル 201号
連絡先	0745-52-2164